「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第１７５号　　令和５年１月２７日

創立１４６年・開校７０周年記念式典リハーサル

今年度の６年生は、１０年に１度の節目の年に当たる運命の最高学年。先週から、６年生の先生方が子どもの取組の楽しさや成就感を味わわせたいと一生懸命指導をなさっていました。儀式的行事のマナー指導もそのひとつです。礼のタイミングや仕方など、作法の習得はこうした行事を重ねることで自然と身に付いていくのだと思います。指導にはやはり必然性が必要なのだということを改めて感じました。

６年生は、卒業式を意識して今回の式典に臨みます。重ねた練習の姿は本当に立派です。すばらしい。そして、嬉しかったです！卒業式や本式典には大きな教育力があると思いました。こうした儀式を通して、少しずつ小学校生活のまとめを行い、次のステップへと上がっていく実感が育まれます。そして当日の感動の中で、これまで共に過ごした仲間や担任の先生への思いを実感し、ここまで生きてきた自分への自身や保護者への感謝も感じることのできる学びの機会となります。６年生には、ぜひ頑張ってほしい！６年生の先生、よろしくお願いします。

式典や卒業式は、本来であれば５年生も参加していますが、残念ながらコロナ禍の影響を受け、参加がかないません。もし参加するとなると、例えば卒業式では、２時間ほど、ほとんど声を出すことなく姿勢も崩すことが許されません。いわゆる「忍耐」が要されることとなりますが、目標は「忍耐力をつけること」ではないことを確認します。その意味理解を大切にしてほしいと思います。５年生にとっては、小学校生活を共に送ってきた大好きな６年生を送り出すときであり、来年卒業を迎える自分たちの未来の姿を見る時でもあります。このことについては、卒業式が近付いてきたら、改めてお伝えします。

さて、リハーサルも終わり、残すところ本番。先生も子どもも保護者も地域も共に、糀谷小の誕生日をお祝いしましょう。